

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	本田技研工業株式会社	事業所名	埼玉製作所小川工場		
取組措置		具体的取組措置	H30	H31	H32
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	輸送会社選定時にISO14001保有を入札条件として設定	○	○	○
02	モーダルシフトの推進 ----- ()	完成車輸送: 四日市港と横浜大黒埠頭間を船での船輸送実施 部品輸送: 浜松製作所と埼玉製作所間のミッションを鉄道輸送実施	○	○	○
03	物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- ()	製品物流部で一括管理/物流施策展開により2次輸送のCO2把握	○	○	○
04	積載率の向上 ----- (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	荷姿設定及び荷姿改善等の取組展開を継続実施	○	○	○
04	積載率の向上 ----- (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	内外装品リターナブルケース化と軽量化を継続実施	○	○	○
04	積載率の向上 ----- (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	荷量計算上、最大輸送効率輸送を継続実施	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

05 混載便の利用又は共同輸配送の実施 (01) 混載便利用の取組	事前に物量を計算し混載を踏まえ最大効率を追求している。	○	○	○
05 混載便の利用又は共同輸配送の実施 (02) 他者との共同輸配送の取組	HM近在倉庫にて輸送効率向上施策として他社混載搬入の許可	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨	車両新規購入時に目安として管理項目として設定	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	構内入場許可証申請時に車検証にて確認実施	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	構内駐車時のアイドリングストップをルール化、不定期パトロールにて管理	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	発注時に搬入時間、搬入場所、搬入時に使用するピットの接車時間を設定	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	搬入指示を集約して搬入回数の低減化推進	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

07 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	渋滞緩和を目的に早期搬入の許可 無線等により情報共有し回避ルートの指示展開	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (04) 輸送トラックの待ち時間の削減	搬入車両待機場のパトロール時にドライバーに声掛け運動実施	○	○	○
08 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	HM周辺物流業者(倉庫)を活用し集約輸送の推進実施	○	○	○
08 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	HM近在倉庫を活用し個別搬入を集約混載輸送に変換実施	○	○	○
09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	生産計画及び部品発注情報を開示搬入便集約検討に活用	○	○	○
10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 ()	待機場所の設定／巡回パトロールによる路上停車撲滅展開実施	○	○	○

《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	本田技研工業株式会社	事業所名	埼玉製作所小川工場			
	取組措置		具体的取組措置	H30	H31	H32

自動車地球温暖化対策実施方針

01 マイカー通勤に係る重点目標の設定 ()	整備不良撲滅を目的に連休前に車両展開実施 改造車両及び点検状態の確認	○	○	○
02 公共交通機関への転換の推進 (02) 送迎バス等の運行	期間従業員の通勤手段として各寮から通勤バスを運行	○	○	○
03 自転車への転換の推進 (01) 自転車の安全利用の促進	法改正に伴い従業員への周知推進	○	○	○
03 自転車への転換の推進 (02) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理	所内駐輪場の設置と維持管理	○	○	○
04 時差通勤の実施 ()	フレックス導入の拡大検討	○	○	○
07 エコドライブの推進 (01) エコドライブの啓発	駐車場でのアイドリングストップ	○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	本田技研工業株式会社	事業所名	埼玉製作所狭山工場			
	取組措置		具体的取組措置	H30	H31	H32

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>02 モーダルシフトの推進 ()</p>	<p>完成車輸送: 四日市港と横浜大黒埠頭間を船での船輸送実施 部品輸送: 浜松製作所と埼玉製作所間のミッションを鉄道輸送実施</p>	○	○	○
<p>03 物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ()</p>	<p>製品物流部で一括管理/物流施策展開により2次輸送のCO2把握</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上 (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上</p>	<p>荷姿設定及び荷姿改善等の取組展開を継続実施</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上 (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施</p>	<p>内外装品リターナブルケース化と軽量化を継続実施</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上 (03) 輸送量に応じた適正車種での発注</p>	<p>荷量計算上、最大輸送効率輸送を継続実施</p>	○	○	○
<p>05 混載便の利用又は共同輸配送の実施 (01) 混載便利用の取組</p>	<p>事前に物量を計算し混載を踏まえ最大効率を追求している。</p>	○	○	○
<p>05 混載便の利用又は共同輸配送の実施 (02) 他者との共同輸配送の取組</p>	<p>HM近在倉庫にて輸送効率向上施策として他社混載搬入の許可</p>	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨	車両新規購入時に目安として管理項目として設定	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	構内入場許可証申請時に車検証にて確認実施	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	構内駐車時のアイドリングストップをルール化、不定期パトロールにて管理	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	発注時に搬入時間、搬入場所、搬入時に使用するピットの接車時間を設定	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	搬入指示を集約して搬入回数の低減化推進	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	渋滞緩和を目的に早期搬入の許可 無線等により情報共有し回避ルートの指示展開	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (04) 輸送トラックの待ち時間の削減	搬入車両待機場のパトロール時にドライバーに声掛け運動実施	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

08 物流の効率化 ----- (02) 物流拠点の活用	HM周辺物流業者(倉庫)を活用し集約輸送の推進実施	○	○	○
08 物流の効率化 ----- (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	HM近在倉庫を活用し個別搬入を集約混載輸送に変換実施	○	○	○
09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ----- ()	生産計画及び部品発注情報を開示搬入便集約検討に活用	○	○	○
10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 ----- ()	待機場所の設定／巡回パトロールによる路上停車撲滅展開実施	○	○	○
71 ----- (01)	輸送会社選定時にISO14001保有を入札条件として設定	○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	本田技研工業株式会社		事業所名	埼玉製作所寄居工場		
	取組措置			具体的取組措置		
				H30	H31	H32
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	輸送会社選定時にISO14001保有を入札条件として設定			○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>02 モーダルシフトの推進 ()</p>	<p>完成車輸送: 四日市港と横浜大黒埠頭間を船での船輸送実施 部品輸送: 浜松製作所と埼玉製作所間のミッションを鉄道輸送実施</p>	○	○	○
<p>03 物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ()</p>	<p>製品物流部で一括管理/物流施策展開により2次輸送のCO2把握</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上 (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上</p>	<p>荷姿設定及び荷姿改善等の取組展開を継続実施</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上 (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施</p>	<p>内外装品リターナブルケース化と軽量化を継続実施</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上 (03) 輸送量に応じた適正車種での発注</p>	<p>荷量計算上、最大輸送効率輸送を継続実施</p>	○	○	○
<p>05 混載便の利用又は共同輸配送の実施 (01) 混載便利用の取組</p>	<p>事前に物量を計算し混載を踏まえ最大効率を追求している。</p>	○	○	○
<p>05 混載便の利用又は共同輸配送の実施 (02) 他者との共同輸配送の取組</p>	<p>HM近在倉庫にて輸送効率向上施策として他社混載搬入の許可</p>	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨	車両新規購入時に目安として管理項目として設定	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	構内入場許可証申請時に車検証にて確認実施	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	構内駐車時のアイドリングストップをルール化、不定期パトロールにて管理	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	発注時に搬入時間、搬入場所、搬入時に使用するピットの接車時間を設定	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	搬入指示を集約して搬入回数の低減化推進	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	渋滞緩和を目的に早期搬入の許可 無線等により情報共有し回避ルートの指示展開	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (04) 輸送トラックの待ち時間の削減	搬入車両待機場のパトロール時にドライバーに声掛け運動実施	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

08 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	HM周辺物流業者(倉庫)を活用し集約輸送の推進実施	○	○	○
08 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	HM近在倉庫を活用し個別搬入を集約混載輸送に変換実施	○	○	○
09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	生産計画及び部品発注情報を開示搬入便集約検討に活用	○	○	○
10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 ()	待機場所の設定／巡回パトロールによる路上停車撲滅展開実施	○	○	○

《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	本田技研工業株式会社	事業所名	埼玉製作所寄居工場			
取組措置		具体的取組措置		H30	H31	H32
01 マイカー通勤に係る重点目標の設定 ()	整備不良撲滅を目的に連休前に車両展開実施 改造車両及び点検状態の確認	○	○	○	○	○
02 公共交通機関への転換の推進 (02) 送迎バス等の運行	期間従業員の通勤手段として各寮から通勤バスを運行	○	○	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

03 自転車への転換の推進 ----- (01) 自転車の安全利用の促進	法改正に伴い従業員への周知推進	○	○	○
03 自転車への転換の推進 ----- (02) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理	所内駐輪場の設置と維持管理	○	○	○
04 時差通勤の実施 ----- ()	フレックス導入の拡大検討	○	○	○
07 エコドライブの推進 ----- (01) エコドライブの啓発	駐車場でのアイドリングストップ	○	○	○